



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 フマキラー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4998 URL <https://www.fumakilla.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）大下 一明
 問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）郷原 和哉 TEL 0829-55-2112
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無： 無
 決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	22,815	9.6	1,343	7.0	1,219	△4.4	394	△25.7
2026年3月期第1四半期	20,825	△0.4	1,255	34.0	1,275	30.1	530	△25.2

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 1,271百万円（－％） 2026年3月期第1四半期 △433百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	23.92	—
2026年3月期第1四半期	32.17	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	69,360	29,604	39.6	1,667.14
2026年3月期	68,556	29,327	39.1	1,627.35

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 27,472百万円 2026年3月期 26,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	—	—	24.00	24.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	—	—	24.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	45,400	13.1	1,910	△9.9	1,830	△13.9	920	△30.6	55.86
通期	84,800	9.6	2,950	34.7	2,810	24.1	1,630	35.1	98.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	16,490,000株	2026年3月期	16,490,000株
2027年3月期1Q	10,929株	2026年3月期	10,853株
2027年3月期1Q	16,479,121株	2026年3月期1Q	16,479,564株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料における業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定の要素を含んでいます。実際の業績等は業況の変化等により、上記予想数値とは異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の4ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当四半期の経営成績の概況

(経営成績)

(単位：百万円)

指標等	2026年3月期 第1四半期累計	2027年3月期 第1四半期累計	増減額	増減率 (%)
売上高	20,825	22,815	1,990	9.6
営業利益	1,255	1,343	87	7.0
経常利益	1,275	1,219	△56	△4.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	530	394	△136	△25.7
1株当たり四半期純利益	32円17銭	23円92銭		

(国内・海外売上成績)

(単位：百万円)

	2026年3月期 第1四半期累計	2027年3月期 第1四半期累計	増減額	増減率 (%)
国内	8,784	9,387	602	6.9
海外	12,040	13,427	1,387	11.5
合計	20,825	22,815	1,990	9.6
海外売上構成比	57.8%	58.9%		

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日から2026年6月30日まで）のわが国経済は、雇用環境の改善等を背景に緩やかに回復する一方、物価高が個人消費の重荷となりました。海外経済も、欧米の金融政策や中国の景気減速懸念、地政学リスク、為替・資源価格変動の影響を受け、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。わたしたちは、世界中の人々がいつまでも安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献していきます。」という経営理念のもとで、それぞれの国に最適な高効力・高品質の商品を提供し、世界中のより多くの人々に安心を届けることを目指しています。

特に、この数年でグループ全体の事業領域と欧州展開をはじめとする地理的な拡大が進んだため、それらの経営基盤強化と事業展開のスピードアップを積極的に進めてまいりました。

その結果、連結売上高は、前年同期比9.6%増の228億15百万円（為替変動の影響を除くと2.9%増）となりました。

国内売上は、園芸用品、防疫剤が減収となった一方で、殺虫剤が増収となり前年同期比6.9%増の93億87百万円となりました。一方、海外売上は、東南アジア、欧州の各地域において現地通貨ベースで前期並みに推移し、円安の影響をうけた結果、前年同期比11.5%増の134億27百万円となりました。

売上原価は、前年同期比13億60百万円増加し155億35百万円、売上原価率は68.1%となり前期並みとなりました。売上総利益は72億80百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、人件費・広告宣伝費等の増加により、前年同期比10.0%増の59億36百万円となりました。

これらの結果、営業利益は13億43百万円（前年同期比7.0%増）、経常利益は12億19百万円（前年同期比4.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億94百万円（前年同期比25.7%減）となりました。

次に、セグメント別の概況は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

		2026年3月期 第1四半期累計	2027年3月期 第1四半期累計	増減額	増減率 (%)
日本		8,858	9,595	737	8.3
	殺虫剤	4,980	5,661	681	13.7
	家庭用品	396	396	△0	△0.0
	園芸用品	1,454	1,317	△136	△9.4
	防疫剤	509	465	△43	△8.6
	その他	1,517	1,754	237	15.6
東南アジア		8,123	9,081	957	11.8
	殺虫剤	8,086	9,059	972	12.0
	家庭用品	36	22	△14	△39.5
欧州		3,096	3,380	283	9.2
	殺虫剤	3,096	3,380	283	9.2
その他		746	757	11	1.5
	殺虫剤	746	757	11	1.5
合計		20,825	22,815	1,990	9.6
	殺虫剤	16,910	18,858	1,948	11.5
	家庭用品	433	418	△14	△3.4
	園芸用品	1,454	1,317	△136	△9.4
	防疫剤	509	465	△43	△8.6
	その他	1,517	1,754	237	15.6

日本

殺虫剤部門の売上高は、最盛期の4月・5月の天候が前年に比べて好天だったことから市場が好調に推移した一方で、6月は天候条件に恵まれず変動の大きい四半期でしたが、新製品を上市したエアゾールや、昨年落ち込んだハチ剤・カメムシ用不快害虫剤などが好調だったことから、56億61百万円（前年同期比6億81百万円増、13.7%増）の売上となりました。

家庭用品部門の売上高は、アルコール除菌剤、除湿剤の売上が前期を上回った一方で、花粉関連商材の返品が増加したことから、家庭用品合計の売上高は3億96百万円（前年同期比0百万円減、0.0%減）となりました。

園芸用品部門の売上高は、除草剤、殺虫殺菌ハndsプレーの売上が減少したことなどにより13億17百万円（前年同期比1億36百万円減、9.4%減）となりました。

防疫剤部門の売上高は、4億65百万円（前年同期比43百万円減、8.6%減）となりました。

その他の部門の売上高は、17億54百万円（前年同期比2億37百万円増、15.6%増）となりました。

なお、外部顧客に対する売上高は、95億95百万円（前年同期比7億37百万円増、8.3%増）で、セグメント利益は1億50百万円（前年同期比46百万円減、23.5%減）となりました。

東南アジア

ベトナム、ミャンマーなどで売上が現地通貨ベースで堅調に推移しました。円貨ベースでは為替が前期に比べ円安となったことから外部顧客に対する売上高は90億81百万円（前年同期比9億57百万円増、11.8%増）となりました。また、セグメント利益は6億36百万円（前年同期比1億15百万円増、22.1%増）となりました。

欧州

欧州においては、現地通貨ベースではほぼ前年並みとなり、外部顧客に対する売上高は33億80百万円（前年同期比2億83百万円増、9.2%増）となりました。また、セグメント利益は1億99百万円（前年同期比80百万円減、28.9%減）となりました。

その他

インドとメキシコを中心に販売し、外部顧客に対する売上高は7億57百万円（前年同期比11百万円増、1.5%増）となりました。また、セグメント利益は1億18百万円（前年同期比78百万円増、197.0%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産額は、前連結会計年度末に比べて8億4百万円増加し、693億60百万円となりました。主な要因は売掛金が19億4百万円、投資有価証券が7億38百万円、電子記録債権が4億5百万円増加した一方で、商品及び製品が13億57百万円、現金及び預金が9億91百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べて5億27百万円増加し、397億56百万円となりました。主な要因は未払金が21億46百万円、支払手形及び買掛金が17億90百万円、返金負債が9億66百万円、電子記録債務が6億83百万円、未払法人税等が4億16百万円増加した一方で、短期借入金が55億85百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べて2億76百万円増加し、296億4百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が5億7百万円、為替換算調整勘定が2億34百万円増加した一方で、非支配株主持分が3億79百万円、資本剰余金が1億50百万円減少したこと等によるものです。

自己資本比率は、前連結会計年度末より0.5ポイント増加し39.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2026年5月14日の決算発表時点と変更はありません。なお、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,823	8,831
受取手形	16	29
売掛金	17,322	19,227
電子記録債権	858	1,264
商品及び製品	10,280	8,922
仕掛品	729	627
原材料及び貯蔵品	4,303	4,002
返品資産	631	755
その他	1,815	1,945
貸倒引当金	△184	△187
流動資産合計	45,596	45,417
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,863	5,855
機械装置及び運搬具（純額）	2,682	2,710
工具、器具及び備品（純額）	444	431
土地	1,976	1,976
リース資産（純額）	90	84
使用権資産（純額）	733	735
建設仮勘定	480	542
有形固定資産合計	12,271	12,334
無形固定資産		
のれん	865	858
商標権	611	583
その他	1,201	1,150
無形固定資産合計	2,679	2,592
投資その他の資産		
投資有価証券	6,071	6,810
退職給付に係る資産	221	352
その他	1,898	2,038
貸倒引当金	△182	△186
投資その他の資産合計	8,009	9,015
固定資産合計	22,959	23,942
資産合計	68,556	69,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,556	9,347
電子記録債務	1,610	2,294
短期借入金	16,084	10,498
1年内返済予定の長期借入金	462	503
リース債務	86	85
未払金	4,161	6,307
未払法人税等	237	654
賞与引当金	894	588
返金負債	1,983	2,950
その他	749	638
流動負債合計	33,826	33,867
固定負債		
長期借入金	1,545	1,702
リース債務	303	304
退職給付に係る負債	921	939
役員退職慰労引当金	517	526
執行役員退職慰労引当金	18	16
資産除去債務	34	34
その他	2,060	2,362
固定負債合計	5,401	5,888
負債合計	39,228	39,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,698	3,698
資本剰余金	4,659	4,508
利益剰余金	12,402	12,401
自己株式	△10	△10
株主資本合計	20,749	20,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,700	3,208
為替換算調整勘定	3,325	3,559
退職給付に係る調整累計額	40	107
その他の包括利益累計額合計	6,067	6,875
非支配株主持分	2,510	2,131
純資産合計	29,327	29,604
負債純資産合計	68,556	69,360

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	20,825	22,815
売上原価	14,174	15,535
売上総利益	6,650	7,280
販売費及び一般管理費	5,395	5,936
営業利益	1,255	1,343
営業外収益		
受取利息	35	36
受取配当金	94	97
還付消費税等	41	—
その他	28	38
営業外収益合計	200	172
営業外費用		
支払利息	46	61
為替差損	129	228
その他	5	6
営業外費用合計	180	296
経常利益	1,275	1,219
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	5	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	1,280	1,220
法人税、住民税及び事業税	877	874
法人税等調整額	△170	△99
法人税等合計	707	775
四半期純利益	573	445
非支配株主に帰属する四半期純利益	43	51
親会社株主に帰属する四半期純利益	530	394

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	573	445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	115	507
為替換算調整勘定	△1,137	253
退職給付に係る調整額	14	65
その他の包括利益合計	△1,007	826
四半期包括利益	△433	1,271
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△409	1,202
非支配株主に係る四半期包括利益	△24	69

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	東南アジア	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,858	8,123	3,096	20,078	746	20,825
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,416	980	—	2,396	38	2,434
計	10,274	9,103	3,096	22,474	785	23,259
セグメント利益	196	521	280	998	40	1,038

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	998
「その他」の区分の利益	40
セグメント間取引消去	217
四半期連結損益計算書の営業利益	1,255

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2026年4月1日至2026年6月30日）

（1）報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	東南アジア	欧州	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,595	9,081	3,380	22,057	757	22,815
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,002	599	—	1,601	4	1,606
計	10,598	9,680	3,380	23,659	762	24,421
セグメント利益	150	636	199	986	118	1,105

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、メキシコの現地法人の事業活動を含んでおります。

（2）報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利 益	金 額
報告セグメント計	986
「その他」の区分の利益	118
セグメント間取引消去	238
四半期連結損益計算書の営業利益	1,343

（3）報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	416百万円	445百万円
のれんの償却額	32	36